③LUTRON。 GRAFIK Eye。QS EcoSystem。対応コントロールユニット

必ずお読みください



取付と取扱説明書

EcoSystem®対応 GRAFIK Eye® QS コント ロールユニットは、ボタンによるシーン呼び 出し、省エネ率や状態を表示する液晶ディス プレイ、赤外線受光部、年間タイマー、接点 入力、バックライト付きボタン (文字の彫り 込み可) などの多くの機能を備えています。 さらに、インターフェースを使用することな く、照明と電動カーテンの両方を同一のコン トロールユニットで操作することができま す。内蔵されている EcoSystem® のバス型 リンクでは EcoSystem® 機器を最大で、64 台まで操作することが可能です。

型番: QSGRP-6EJA, QSGRP-8EJA, QSGRP-16EJA QSGR-6EJA, QSGR-8EJA, QSGR-16EJA

	100 V \sim 50/60 Hz	200 V \sim 50/60 Hz
ユニット最大容量 (単位: ワット)	1600 W	2400 W
MLV	1600 VA / 1200 W	2400 VA / 1800 W
ゾーン最大容量 (単位: ワット)	25 – 600 W	40 – 900 W
MLV	25 – 600 VA / 25 – 500 W	40 – 900 VA / 40 – 750 W

EcoSystem® バスの定格は7ページを、低電圧の定格は9ページをご覧ください。

目次

EcoSystem₀ 対応 GRAFIK Eye₀ QS
コントロールユニット各部の名前と機能3
EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS
コントロールユニットの配線:
電源 記録 記録 記録 記録 記録 記録 記録 の 概要 4
電源配線計細
ECOSYSTEM® 八人陀称註細
QS リング コントロールの距線計描
电応アループの記録内10 3 台以上の対助コントロールに絵雪する例 11
5 日以上の補助コンドロ ///に相単のの//1
$T > h \Box - h \Box = h 取り付け 12$
ー船的た機能 13
て場出荷時のボタン機能 14
ゾーンボタンの操作
ゾーン LED による照明レベルの表示15
プログラミングモード
プログラミングモードを開始・終了する16
プログラミングモードのメニューを操作する16
ワイヤレスモード17
FCC (連邦通信委員会) 規格について17
ゾーンセットアップ
負荷タイプを選択する18
非調光負荷のタイプを選択する18
負荷タイプの設定19
ハイエンドまたはローエンドを設定する
最低照度を設定する (オノンヨン)
ソーン名を作成する (オノション)
ンーノセットアッノ
ソーノレハル、ノュート、電動パーナノの設定…22 シーンタ たた成する (オプション) 02
シーン石を1F成する $(1 ノンヨノ)$
クークのルビング 仮能をオンバイクにする23 但たオプションを設定する
体行力 ノフヨン
休住 インションの 成定
$\gamma - \gamma / \gamma = \gamma / \gamma / \gamma $
EcoSystem® セットアップ
システムを構築する
EcoSystem 機器をゾーンに割当て/解
除する
EcoSystem 機器のアドレスを設定する27

CCI モードの設定 28
CCIタイプの設定 20
人感センサーのセットアッノ
ワイヤレス人感センサーをユニット
に 接結する 21
割作 七 一 ト を 選 ボ 9 る32
シーンモード
<u> 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、</u>
人感セノサー名を作成9る(オノンヨノ)35
人感センサーの設定を行なう(オプション)36
米センサーのセットアップ 37
リイヤレス元セノサーをユニットに接続9る…38
動作モードを割り当てる
<u> </u>
<i>ツルーノ</i> モート41
光センサー名を作成する (オプション)43
Pioo $D A + 1/7 - 1/6 - 1/0 + 1/6$
パツノ
GRAFIK Eye® QS ワイヤレスコントロ
ールフェットに 培続する 45
QS セノリーモンユール (QSM) 栓田で接
続する46
赤外線セットアップ 47
ホ外線文元部をイノよにはイノに9る48
GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに
OS IB Eve を接続する: 49
QS U = U = U = U (QSW)
経由で接続する51
経由で接続する51 Sivoia OS ロールスクリーン/ドレープリ
経由で接続する51 Sivoia。QS ロールスクリーン/ドレープリ
経由で接続する51 Sivoia。QS ロールスクリーン/ドレープリ ーと GRAFIK Eye。QS コントロールユニ
経由で接続する51 Sivoia® QS ロールスクリーン/ドレープリ ーと GRAFIK Eye® QS コントロールユニ ットを接続する:52
経由で接続する51 Sivoia。QS ロールスクリーン/ドレープリ ーと GRAFIK Eye® QS コントロールユニ ットを接続する:52 雷動カーテン設定を調整する
経由で接続する

イベントを追加する	59
イベントを削除する	60
イベントを表示する	60
特日を設定する	61
特日を表示する	61
特日を削除する	61
スケジュールをコピーする	62
スケジュールを削除する	62
営業時間外モード	63
営業時間外モード設定例	64
宮葉時間外七一ドを設定する	65
宮葉時間外七一下を終了する	65
レイテム診断およい特殊な設定	~~~
ダイムクロックをオン/オフにする	66
ハックフイトをオノ/オノにする	66
ン人テム診断 パフロードた訳中ナス	66
ハ人リートを設定する	67
言語の迭状	68
	68
トフノルンユーティング トニゴルシューニッシグ ロノセレフ 撚出	69
トノノルシューフィング・フイ ヤレス成能	70
トノノルシューナイング、电到カーナノ(成化・	/ 1
トノノルシューティング: ECOSystem (筬肥 伊証坦空	12
休	73
	73

内蔵接点入力 (CCI) のセットアップ

EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニット各部の名前と機能



注: 6 ゾーン用コントロールユニットでは、1~6 ゾーンのみの表示となります。



EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの 配線:電源線および EcoSystem® 配線の概要



EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの配線: 電源配線詳細

- 電源線には必ず VVF-2.0mm 等の適切な 電線をご使用ください.
- 分電盤に適切な短絡保護装置と過負荷保 護装置が備え付けられているか確認して ください。また、20Aまでの分岐ブレー カーを使用してください。
- ご使用になる国または地域の電気関連法 規すべてに従って取り付けを行ってくだ さい。
- 赤外線受信部、人感センサー、コントロールを配線する際、必要に応じて接続端子を一時的に取り外すことができます。
- 注意: ユニットを損傷する恐れがありますので、電源線は低電圧端子に接続しないでください。

手順 1: スイッチボックスを取り付ける。 奥行き 54 mm 程度の 4 個口深型スイッ チボックスを、システムのプログラミン グや操作が可能な、乾いた平らな屋内壁 面に取り付けます。適正に放熱されるよ う、フェースプレートの上下に 110 mm 以上の空間を確保します。また各辺でフ ェースプレートが 25 mm はみ出るよう にします。



- ブレーカーをオフにします。
- ・電源線と負荷線の間に、標準の電灯用ス イッチを接続し、回路テストをします。
- 電源を入れ、回路短絡・開放の確認をします。負荷が点灯しない場合は、回路が開放状態です。ブレーカーがトリップした場合、回路が短絡しています。配線を確認のうえ、再度テストしてください。



- アースへは電源配線図のとおりに接続してください。
- 同じゾーンに異なる照明器具を接続しないでください。
- ご使用になる国内または国際電気関連法 規すべてに従って、低電圧配線と電源配 線を行ってください。



(次ページに続く)





UTRON®

EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの

配線: 電源配線詳細 (続き)

手順 4: 電源線および負荷をコントロール ユニットに接続

 スイッチボックス内の電源線の被覆を約 8 mm 剥きます。



推奨締付けトルクは電源線、アースとも 0.6 N·m です。

注: 接続可能な負荷タイプ一覧および、負荷を正しく接続するための、EcoSystem®対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのプログラミング方法については、「ゾーンセットアップの項目をご覧ください。

- 電源線、アース、負荷の電線をコントロ ールユニット背面の、それぞれ対応する 端子に正しく接続します。
 - L: ホット/電源線
 - N: ニュートラル
 - ⊕:アース
 - 端子 1、2、3: 調光/非調光出力

注意: ユニットを損傷する恐れがありますので、EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの取り付けには、関連法規や建築基準に適合した電気工事士の資格が必要です。不適切な配線は、コントロールユニットまたはその他の機器の損傷につながる恐れがあります。

注: 最大容量を超える負荷は接続しないでください。故障・異常発熱・火災などの原因 となります。本器は一般屋内取り付け専用です。浴室や屋外など湿気の高い場所には設 置しないでください。故障・火災・感電などの原因となります。本説明書に記載された 電線を使用し、確実に結線してください。指定外の電線の使用や不十分な結線は、異常 発熱・火災の原因となります。改造をしないでください。故障・異常発熱・火災などの 原因となります。本器の出力側にコンセント等の受け口を接続しないでください。故 障・火災などの原因となります。それぞれのパワーモジュールに適合する負荷以外のも のは接続しないでください。負荷にあったパワーモジュールを選定してください。故障・ 異常発熱・火災などの原因となります。



EcoSystem® GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの配線: EcoSystem® バス配線詳細

EcoSystem® バスは NEC® クラス I また は低電圧配線が可能です。

- NEC® クラス I: EcoSystem® バスは電源 線と同じダクトで照明器具に配線できま す。
- 低電圧: EcoSystem® バスは、主電源線お よび NEC® クラス I 配線とは別に配線す る必要があります。
- 国内および使用地域の関連法規に従って 配線してください。
- ジャンクションボックスには、複数の EcoSystem® バス配線が結合されてい ます。誤配線を防ぐため、E1 および E2 (EcoSystem® バス)にはなるべく別々の 色の電線を使用してください。次の説明 をよく読んでから EcoSystem® バスの配 線を行なってください。
- 各 EcoSystem® リンクに接続できる EcoSystem® 対応GRAFIK Eye® QS コン トロールユニットは 1 台のみです。リン クにその他の EcoSystem® バス供給機器 を接続することはできません。
- EcoSystem® リンクには EcoSystem® 機器を 64 台まで接続することができます。
- その他の機器を EcoSystem® リンクには接続することは できません。



手順 1: EcoSystem® バスの全長に応じて、適切な電線のサイズを右の表で、確認します。

手順 2: EcoSystem® バスを端子 E1 および E2 からすべての EcoSystem® 機器に 配線します

手順 3: EcoSystem® バスを低電圧配線 にする場合は、主電源線および NEC クラス / 配線とは必ず別に配線してく ださい。

手順 4: ブレーカーをオンにして、給電を開始します。

EcoSystem® /	バス
18 V===	250 mA

電線サイズとバス全長

EcoSystem® バス配線の E1 および E2 に は極性がありません。EcoSystem® バス 全長は、E1 および E2 に使用される電 線のサイズによって、次のように制限さ れます。

電線のサ イズ	EcoSystem® バス全長 の上限
4.0 mm ²	671 m
2.5 mm ²	427 m
1.5 mm ²	275 m
1.0 mm ²	175 m

注:光センサーや人感センサーなどへの 接続が可能な EcoSystem® 機器もありま す (調光安定器、ドライバ、各種インタ ーフェース)。これらの機器の取り付け および取扱方法については、各機器に 付属の説明書をご覧ください。



EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの 配線: 低電圧配線概要



注: 国内の規制で指定される適切な配線接続装置 をお使いください。

EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの配線: QS リンク コントロールの配線詳細

- ・システムの通信には低電圧配線を使用します。
- ・ご使用になる国内または国際電気関連法規すべてに 従って、低電圧配線と電源配線を行ってください。
- 各端子には、1.0 mm²の電線 2 本まで接続可能です。
- ・コントロールリンクの最大総配線長は 600 m です。
- コントロールユニットの接続はすべてスイッチボックス内で行なってください。
- ・ 配線は T タップまたは一筆書き配線にしてください。
- ・低電圧 24 V=== 150 mA。

システム許容量

QS リンクで使用できる機器は 100 台まで、またゾ ーンは 100 ゾーンまでです。

QS リンクのGRAFIK Eye® QS コントロールユニッ トからは、3 台までの 電源ユニット (PDU)コントロ ール に給電できます。PDU に関する詳細について は、QS リンク PDU 仕様 (Lutron PN 369380) をご覧 下さい。



ー筆書き配線の例



電線サイズ (ご使用地域における互換性をご確認ください)

QS リンクの配線の長さ	電線径	ルートロンケーブル部品番号	
150 m まで	電源線 (端子1および2) ペア 1.0 mm²	GRX-CBL-346S GRX-PCBI -346S	
	データ (端子3および4) ツイストシールドペア 0.5 mm²		
150 m 以上 600 m まで	電源線 (端子1および 2) ペア 4.0 mm²	GRX-CBL-46L GRX-PCBI -46L	
	データ (端子3および4) ツイストシールドペア 0.5 mm²		

T タップ型配線の例



EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの配線: 電源グループの配線例

QS リンクには、給電する機器と電気を消費する機器が接続されています。給電する機器には、接続可能な補助コントロール数(PDU) があり、 電気を供給しています。1 つの電源グループは、電源を供給する機器 1 台と、電気を消費する機器 1 台以上から構成されています。給電用の機 器は、各電源グループにつき 1 台となります。PDU に関する詳細については、QS リンク PDU 仕様 (Lutron PN 369380) をご覧下さい。 配線図に A で示されている 4 つの端子 (1~4) をすべて、QS リンクの電源グループ内に接続します。QS リンクで電気を供給している機器の 間に、配線図に B で示されている 1、3、4 の端子 のみ (2 は接続しません)を接続します。



配線は T タップまたは一筆書き配線にしてください。



EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの配線: 3台以上の補助コントロールに給電する例

EcoSystem® コントロール GRAFIK Eye® QS は、最大3台まで seeTouch® 補助コントロールに給電することがで きます。4 台以上の補助コントロールに給電する場合は、外付け 24 V--- 電源アダプターが必要です。

ルは、それが給電するすべての補助コン トロールで QS リンク 端子 2 に接続し ます。GRAFIK Eye® QS コントロールユ ニットの端子2には接続しません。

・ 電源から接続されている +24 VDC ケーブ ・ 電源から接続されているコモン線は、そ れが給電するすべての補助コントロール の QS リンク 端子 1 と、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの端子1に接 続します。

・ QS リンクの通信信号は(端子 3 およ び4)、外部電源が接続されていない場 合と同様、補助コントロールとGRAFIK Eye® QS コントロールユニットを、ツイ ストペア シールド線で接続します。 図は コントロールユニットの背面を示してい ます。





EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニット取り付け







一般的な機能

液晶ディスプレイは、最後にボタンを押してから、またはシーン選択後 30 秒経過すると オフになります。下の表示例を参照ください

マスターボタンにはディスプレイを再びオンにする機能がありま す。マスターボタンは通常、調光ゾーンのレベルを一時的に調整す る場合に使用します (シーンが調整できないように設定してある場合 を除きます)。このボタンで行う調整は一時的なもので、シーンのプ ログラミング内容が変更されることはありません。 注:マスターボタンを使用すると全ゾーンのレベルが変化します。

- OK ボタンで、ディスプレイをオンにして (オフだった場合)、現在の シーンとフェードタイムを表示させることができます。また、Save Always (常に保存) のモードになっている場合、OK ボタンはフ ェードタイムの変更に使用することができます。Save by OK (セーブ バイOK) モードになっている場合は、OK ボタンを 2 回押すとゾーン調節ができ、3 回押すとフェードタイムを変更 することができます。
- タイムクロックボタンは、ディスプレイに現在の時刻と次に予定 されているイベント時刻、次のイベント内容を表示させることが できます。このボタンを2回押すと、時間、日付、営業時間外 モードのステータスが表示されます。3回押すと、所在地と日の 出/日の入時刻が表示され、4回押すと言語選択画面が表示されま す。さらにもう一度ボタンを押すと、最初の画面に戻ります。

ページボタンは 16 ゾーンユニットのみの機能です。このボタンを押すと、ユニットのペ
 ージ1 (ゾーン 1~8) とページ2 (ゾーン 9~16) が切り替わります。各ゾーン LED バーの
 上にある2 つの LED は、現在のページを示しています。ページを切り替えると、8 ゾーンの LED バーは、現在シーンの照明レベルを表示します。



Scene 1

Master raise

Master lower



 11:23 AM Fri
 ()

 Next: 5:00 PM Scene 1
 ()

工場出荷時のボタン機能

EcoSystem® 対応GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、特別なプログラミングを することなく、ほとんどの負荷をコントロールすることができます。工場から出荷され る各ユニットのシーンおよび電動カーテンボタンは、あらかじめ下記のようにプログラ ムされています。負荷タイプの設定(調光用および非調光とも)については、使用する前 に負荷タイプを選択してください。シーン設定の変更方法については、「シーンセット アップ」の項目をご覧ください。



シーンボタンは調光用負荷向けにプログ ラミングされています シーン 1: 全ゾーン 100%

シーン 2: 全ゾーン 75% シーン 3: 全ゾーン 50% シーン 4: 全ゾーン 25% 全ゾーンオフ



電動カーテンボタンは Sivoia。QS ロ ールスクリーン向けにプログラミング されています 全ロールスクリーン全開 全ロールスクリーン 50% 開 全ロールスクリーンすべて閉 全ロールスクリーンを開/閉 (電動カーテン用キーパッドを備えてい るユニットのみ)



ゾーンボタンの操作

ゾーンボタンと LED はそれぞれの各ゾー ンに対応しています。16 ゾーン用ユニッ トでは、ページボタンがゾーン 1~8 と 9~16 を切り替えます。各列の上にあるペ ージ LED は、現在切り替えられてい るゾーンを示します。このボタンのどれか を押すと、ディスプレイに対応するゾーン の現在照度と省エネ状況が表示されます。

アップ/ダウンボタンを押して実行する 操作はゾーンのタイプによって異なりま す (詳細は以下参照)。

調光ゾーン:

- 押し続けると、ゾーンの照明レベルがアップまたはダウンし、指を離すと止まります
- フェード中のゾーンの場合、アップまたは ダウンボタンを押すと、フェードがストッ プします
- オフから100%までのアップ、または 100%からオフまでダウンするには、ゾ ーンアップボタンまたはダウンボタンを押 し続けて約5秒かります。
- オフと 100% を瞬時に切り替えたい場合 は、そのゾーンのアップ・ダウンボタン両 方を同時に押します
- ・ ゾーンの照明レベルを 0% にしてから、 ダウンボタンを 6 秒押し続けると、その ゾーンは現在のシーンで変化しないように 設定されます(無変化ゾーン)。シーンが 開始されても、そのゾーンは変化せず、そ のシーン中はマスターボタンを押してもゾ ーンの照明レベルは変化しません。

非調光ゾーン:

- アップボタンを押すとゾーンがオンになります
- ダウンボタンを押すとゾーンがオフになります
 - **注:** ゾーンのタイプを設定する方法は「ゾ ーンセットアップ」の項目をご覧下





ゾーン LED は照明レベル (%) を表示

照明レベル (%)	オフ	1–17	18-33	34-49	50-66	67-82	83-99	オン/ 100%	UA
調光可能な負 荷タイプの 場合	•••••	•	••••	•			•••••	•	
非調光負荷タ イプの場合								••••	••••

凡例:

UA=無変化 (シーンボタンやマスターボタ

- ▶ ンを押しても照明は変化しない)
- LED オン

LED オフ

プログラミングモード

プログラミングモードを起動・終了する

Main menu	<u>プログラミングモードを起動する:</u>
Timeclock	シーン選択ボタンの一番上と下を同時に3 秒間押し続けます。シーン選択ボタンの
Scene setup	LED が上から下に循環点滅して、プログラ ミングモードになっていることを示し、デ ィスプレイにはメインメニューが表示され ます。
Scene 1	プログラミングモードを終了する:
Fade time 3 seconds	シーフ選択ホタンの一番上と下を向時 に3秒間押し続けます。ディスプレイは 「Scene 1」を表示します。



プログラミングモードのメニューを操作する

マスターボタン

マスターボタンは、メニューのスクロールに使用します。カーソルを合わせた項目は反転表示されます。

<u>OK ボタン</u>

OK ボタンは現在反転表示されている項目を選択するのに使用します。OK ボタンを押すと、次のメニューに進むか、または選択を決定します。ディスプレイに Yes/No が表示された場合は、「yes」が OK ボタンとなります。

タイムクロックボタン

プログラミングモードでは、タイムクロックボタンは「戻る」ボ タンとして機能します。タイムクロックボタンを押すと、現在の メニューから1つ前のステップに戻り、繰り返し押すと最終的に はメインメニューにもどりますが、プログラミングモードを終了 することはできません。ディスプレイに Yes/No が表示された場 合は、「No」がタイムクロックボタンとなります。



ワイヤレスモード

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの多くは、他の Lutron® 製品とワイヤレスで通 信させることができます。この機能により、一つの部屋の中なら、ワイヤレスセンサー やキーパッド、リモコン、ロールスクリーンをワイヤレスで使用し、連動させることが できます。

ワイヤレス対応ユニットには、ユニット前面に「GRAFIK Eye® QS ワイヤレス」と記載 されています。

GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロールユニットでは 3 種類のモードを使用すること ができます。

- Disabled (オフ): 有線接続専用システムで使用。
- Enabled (オン): GRAFIK Eye QS ワイヤレス コントロールユニットは、近くのLutron QS ワイヤレス (またはワイヤレス対応) 製品から送信される全てのコマンドに応答し ます。
- Ignore Programming (プログラミング無応答: 初期設定): GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロールユニットは、接続されているワイヤレス機器からの通常の操作コマンドに のみ応答します。





ゾーンセットアップ

負荷タイプを設定する





非調光負荷のタイプを設定する

非調光負荷として設定されたゾーンは次の3つの設定が可能です。

- LOFO: 最後にオン、最初にオフ Main menu ・FOFO: 最初にオン、最初にオフ CCI Setup ・FOLO: 最初にオン、最後にオフ Zone setup 調光負荷および非調光負荷の両方で構成される シーンにおいて、非調光負荷が最初にオンもし くは最初にオフ設定となっている場合は調光 Zone Setup 可能負荷の動作前、最後にオンもしくは最後に オフ設定となっている場合は調光負荷の動作後 Load Type に、非調光負荷ゾーンはトグルされます。 Non-Dim Load Type 1. プログラミングモードを起動します。 2. マスターボタンで、「Zone setup」(ゾーンセ ットアップ) にカーソルを合わせ、OK ボタン Load Type を押します。 3. マスターボタンで「Non-Dim Load type」(非 Set zones 調光負荷タイプ) にカーソルを合わせ、OK ボ タンを押して決定します。次ページの表「負荷 タイプの設定」を参照してください。 4. ゾーン アップ/ダウン ボタンで、そのゾーン の非調光負荷タイプを選択し、(非調光として プログラミングされていないゾーンは「無変 Saved 化」として表示されます)。OK ボタンを押して 決定します。 5. ディスプレイには、負荷タイプが保存された ことが表示されます。
 - 6. プログラミングモードを終了します。

診LUTRON®

EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS 取付・取扱説明書 18

ソーン	/セットアップ (続き)		
負荷タ	イプの設定		
		GRAFIK Eye® QS コント ロールユニットによる直 接コントロール	パワーモジュールまたは インターフェース経由で コントロール
		EcoSystem® リンクへ して	パワーモジ ユール
	負荷タイプ	GRAFIK Eye QS コントロ 択する負	ールユニットのメニューで選 夏荷タイプ:
	白熱灯・MLV(電磁トラ ンス付きローボルト球)	Incandescent (白熱灯)、MLV	パワーモジュール
	ELV(電子トランス付きロ ーボルト球)		パワーモジュール
	ルートロン蛍光灯安定器 Hi-Lume®/Eco-10®		蛍光灯モジュール
	0~10V		蛍光灯モジュール
	非調光照明負荷	非調光	非調光
۲ × ۳ ×	ネオン/冷陰極管	Neon、CC (ネオン、CC、 電磁トランスつき器具に 限る)	Neon、CC (ネオン、CC、 電磁トランスつき器具に 限る)
ジー	EcoSystem®	デジタル負荷	—
	DMX	—	DMX
	RGB/CMY DMX		RGB/CMY DMX
	Cree 社製 LR4/LR6 LED	Cree 社製 LR4/LR6 LED	蛍光灯モジュール
	EcoSystem®	デジタル負荷	_
20	DMX	_	DMX
15	RGB/CMY DMX	—	RGB/CMY DMX
	EcoSystem® スイッチング (XPJ など)	非調光デジタル	

負荷タイプに関する注意

- ・電子トランス付きローボルト器具 (ELV)を使用する場合は必ず、逆相 調光制御が可能なインターフェース(NGRX-ELVI-JAなど)が必要です。電子トランスは調光可能型のものを使用してください。また、 調光トランスはインターフェースとのマッチングテストが必須です。マッチングしないトランスを使用すると、不点・ちらつき・器具故障の原因となります。
- すべての DMX または RGB/CMY DMX 照明には、コントロールユ ニットに DMX インターフェース (QSE-CI-DMX など) が必要です。

EcoSystem® ではない負荷:

- ・すべてのゾーンが接続されている 必要はありませんが、接続されて いるゾーンには最低負荷が必要で す。
 - 100 V∼ : 25 W 200 V∼: 40 W
- ・最大ゾーン容量:
 - 100 V~: 600 W
 - 200 V~: 900 W
- ・ 電磁トランス付きローボルト球
- (MLV) の最大照明負荷の合計は、 入力電圧によって異なります: 100 V~: 600 VA / 500 W 200 V~: 900 VA / 750 W

ゾーンセットアップ

ハイエンドまたはローエンドを設定する

- ハイエンドおよびローエンドの設定についてよくわからない場合 は、ルートロンのテクニカルサポートまでお問合せください。
- ハイ・ローエンドはゾーンの照度の上限および下限を設定し ます。負荷タイプをプログラミングすると、レベルが自動的に 設定されます。



- プログラミングモードを起動します
 マスターボタンで、「Zone setup」(ゾーンセットアップ)にカーソルを合わ せ、OK ボタンを押します。
- 3. マスターボタンで「High end」(ハイエン ド) または「Low end」(ローエンド) にカ ーソルを合わせます (左の図では「Low end」が選択されています)。OK ボタンを 押して決定します。
- ゾーン アップ/ダウン ボタンで、そのゾ ーンのハイエンドまたはローエンドを設 定します。各ゾーン番号と照度 (%) がデ ィスプレイに表示されたらボタンで調整 し、OK ボタンを押して決定します。
- ディスプレイには、設定が保存されたことを示す「Saved」が表示されます。
 プログラミングモードを終了します。



最低照度を設定する (オプション)

お住まいの地域によっては、居住建築物内の調光空間に対し、最 低照明レベルが定められている場合があります。この規定が適用 される地域にお住まいの場合は、次の手順に従って最低照明レベ

- ルを設定してください。 Zone setup 1. プログラミングモードにして、「Zone setup」(ゾーンセットアップ)続いて Low end 「Min level」(最低レベル)を選択し Min level ます。OK ボタンを押して決定します。 2. 最低レベルを消灯とする場合は、マスタ ーボタンで「OFF」に、最低レベルを Min level 10%とする場合は「10%」にカーソル を合わせます。OK ボタンを押して決定し Off ます。 注: 非調光タイプ負荷の場合、設定内容に 関らず消灯となります。 3. ディスプレイには、保存オプションが設 定されたことを示す「Saved」が表示さ Saved れます。
 - 4. プログラミングモードを終了します。

LUTRON®

ゾーンセットアップ

ゾーン名を作成する (オプション)







シーンセットアップ

ジーンレベル、フロ Main menu Timeclock Scene setup	 ニード、電動カーテングループ動作の設定 1. プログラミングモードを起動します。 2. マスターボタンで、「Scene setup」(シーンセットアップ)に カーソルを合わせ、OK ボタンを押します。 3. マスターボタンで、「Level」にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します。マスターボタンで、希望のシーン番号にカーソルを合わせ、OK ボタンを押して決定します。 	16 С С С С С С С С С С С С С С С С С С С	マスターボ タン OK ボタン タイムクロ ック (戻る)
Levels Labels Scene setup	 4. ゾーンアップ/ダウンボタンで、このシーン用の照明レベルを 各ゾーンごとに設定します。ディスプレイにゾーンと照度が表 示されますので、希望に合わせて調整します。 ゾーンを無変化にするには、照明レベルをオフにまで下げ、さら にゾーンダウンボタンを3秒間押し続けます。ディスプレイに は「」が表示され、中央の3つのゾーン LED が点灯して、 そのゾーンが該当のシーンで無変化になっている(そのゾーンで は該当のシーンが作動しない)ことを知らせます。 すべてのゾーンの照明レベルを設定したら、OK ボタンを押して 決定します。 	$ \begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	ボタジ 電動カーテ
Scene 1 Set zones Scene 1 Adjust fade 3 seconds	 5. マスターホタノでそのシーノのノェートタイムを設定し、OK ボタンを押して決定します。 6. 注: この手順は、システムに電動カーテンが接続されている場 合のみ使用できます。電動カーテンがない場合や、そのシーン で電動カーテングループを設定しない場合は、OK ボタンを押 して次の手順に進んでください。 そのシーンで希望するレベルに、各電動カーテングループを設 定します。すべての電動カーテングループがすでに希望のレベ ルになっている場合、OK ボタンを押して先に進みます。 電動カーテンのプログラミングについては、「電動カーテン設 空の調整」の項目をで覧ください。 		ノ 小 ダ ノ
Scene 1 Set shade Groups	7. ディスプレイには、シーンが保存されたことを示す「Saved」 が表示されます。 8. プログラミングモードを終了します。	2 10 3 11 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	プ ン



シーンセットアップ

シーン名を作成する (オプション)

Main menu	1. プログラミングモードを起動し ます。
Timeclock	2.マスターボタンで、「Scene
Scene setup	setup」(シーンセットアップ) にカ
V V	ーソルを合わせ、OK ボタンを押し
Scene setup	まり。 2 マフターボタンズ [Labola] にカ
	ーソルを合わせ、OK ボタンを押し
Levels	ます。
	4. マスターボタンで名前を変更するゾ
Y	ーン番号に切り替え、OK ホタンを 畑レて決定します
Select scene:	行して決定しより。 5 マスターボタンで「Custom」に力
Scene 1	ーソルを合わせ、OK ボタンを押し
	ます。
V	6. マスターボタンでアルファベット (小文字)
Label scene 1	(小文子、六文子、数子の 0~9 まで) を順に表示します。現在入力して
	いる箇所の文字に下線が表示されま
Custom	す。入力したいアルファベットが表
•	示されたら、OK を押し、ソーン名 が空全に入力されるまでこの操作を
Y	繰り返します。文字を入力しない部
Label scene 1	分は、スペースを入力しOK を押し
	ます。最大12文字まで人力でき ます。入力が空スしたら、OK ギタ
	ンを押して決定します。
V	7. ディスプレイには、ゾーン名が保存
	されたことを示す「Saved」が表示
baye2	
Javeu	8. ノロクラミノクモートを終了しま す。



シーンの光センサー機能をオン/オフする



- 1. プログラミングモードを起動します。
- 2. マスターボタンで、「Scene setup」(シーンセ ットアップ) にカーソルを合わせ、OK ボタン を押します。
 - 3. マスターボタンで、「Daylighting」 にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します。
 - 4. マスターボタンで名前を変更するゾーン番号に 切り替え、OK ボタンを押して決定します。
 - 5. マスターボタンで、「Enable」(オン) または 「Disable」(オフ) を選択します。シーンで光 センサー機能がオフになっている場合、そのシ ーンでは、GRAFIK Eye® QS コントロールユニ ットは、光センサーと連動しません。 OK を押して保存します。
 - 6. プログラミングモードを終了します。

保存オプションを設定する

GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの保存オプションは、クイック シーンプログ ラミングをオンまたはオフにできるように設定したり、特定の場合にゾーンやシーン ボタンを使用できなくするよう設定することができます。

Main menu Scene setup Save mode Save mode Save always Save always

保存オプションの設定

<u>Save by OK (セーブ バイ OK: 初期設定)</u>: クイック シーンプロ グラミングが可能なオプションです。ゾーンの調整は OK ボタ ンで確定されるまで、保存されません。

<u>Save always (常に保存)</u>: 照明レベルやオフまでのフェードタイ ムへの変更をすべて自動的に保存するモードです (マスターボ タンでの変更は保存されません)。

<u>Save never (保存しない)</u>: 照明レベルやフェードタイムへの 一時的な変更はどのような場合も保存しないモードです。

<u>Four scenes (4 シーン: 主にレンタルスペースなどで使用):</u> ゾー ンアップ/ダウンボタンの操作を無効にするモードです。マス ターアップ/ダウンボタン、補助コントロール、リモコンによ る照度調整は引き続き可能ですが、これらの変更は保存されま せん。

Button disable (ボタン操作無効: 主に公共空間などで使用): タイムクロックボタン、リモコン、補助コントロールでのみ選択・一時的な変更ができるようにするモードです。

保存オプションを変更する

- 1. プログラミングモードを起動します。
- 2. マスターボタンで「Save mode」にカーソルを合わせ、OK ボ タンを押します。
- 3. マスターボタンで適用する保存オプションにカーソルを合わ せます。各保存オプションの詳細は本ページの下をご覧くだ さい。
- OK ボタンを押して決定します。ディスプレイには、保存オプションが保存されたことを示すメッセージが表示されます。
 プログラミングモードを終了します。



クイックシーン プログラミング: セーブ バイ OK モード

GRAFIK Eye® QS コントロールユニット は、工場出荷時は「Save by OK」(セーブ バイ OKモード)に設定されています。こ のモードでは、プログラミングモードを 開始しなくても、すばやくシーンを設定 することができます。

- 1.設定したいシーンボタンを押します。 LED が点灯し、照明は現在の設定で点灯 します。
- 2. ゾーン アップ/ダウンボタンで、すべての 照明を希望のレベルに調整したら、OK ボ タンを押して選択します。
- マスターボタンでフェードタイムを希望 の長さに設定し、OK ボタンを押して保存 します。
- 4.ディスプレイには、新しいシーン設定が 保存されたことを示す「saved」が表示さ れます。

注

- マスターボタンで照明レベルを変更した 場合は、保存されません。
- ゾーンを無変化 (---) に設定するには、ゾ ーンの照明レベルを 0% にしてから、ゾ ーン ダウンボタンを 6 秒間押し続け ます。

EcoSystem_® セットアップ

EcoSystem® 各機器が配線され、電源が供給されたら、システムがコントロールを開始する前にアドレス設定を行なう必要があります。「Build System」(システム構築) コマンドを使用すると自動的にこの操作を実行することができます。

注:「Build System」が実行されると、EcoSystem® に保存されている既存の プログラ ミングはすべて消去されます。これには、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの EcoSystem® センサープログラミングも含まれます。





ダウンズボ タンで、 すべての EcoSystem® 機器がア ドレス設定 されたこ

のアップ/

されたこ とを確認し ます。



EcoSystem® 機器をゾーンに割当て/解除する

EcoSystem_® 各機器は、ゾーンに割当てまたは割当てを解除する前に、システムでアドレス設定する必要があります (前ページ参照)。

Main menu	」1. プログラミングモードを起動します。	,
Zone setup	2. マスターボタンで、「EcoSystem」にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します	
EcoSystem	3. マスターボタンで「Assign zones」(ゾーン割当て) にカーソル	
EcoSystem	4. マスターボタンで、リンク上の EcoSystem® 機器 を順に表示 します。選択された機器は点滅し、ディスプレイには機器の番	
Assign zones	ちとリングに接続されている機器数が表示されます。その機器 がゾーンに割当てられている場合、ゾーン番号が画面の一番下 に表示され、そのゾーンIED が点灯します。割当てられてい	
	ない場合は、「Unassigned」(割当てなし)と表示されます。 ・ ゾーンアップ ボタンを押して機器をそのゾーンに割当て	
Assign zones	ます。	
Ballast 2 / 23	 ゾーンダウンボタンを押して、機器のそのゾーンへの割当 てを<u>解除</u>ます。 	
Unassigned	5. タイムクロック (戻る) ボタンを押して、EcoSystem メニュー	
•	に戻ります。EcoSystem® 各機器は通常のレベルに戻ります。	
Assign zones	0. クロノフミンフヒー「を忙」しより。	
Ballast 2 / 23	注	
Zone 3	 以前に割当てていたゾーンがある場合、機器はそのゾーンから は解除され、新しいゾーンに割当てられます (各機器を割当て られるゾーンは1度に1ゾーンのみです)。 	
	 各機器は EcoSystem® 負荷タイプに設定されているゾーン以外には、割当てられません。 	
	 負荷タイプの変更方法については、「ゾーンセットアップ」の 項目をご覧ください。 	



ます。

EcoSystem® セットアップ

EcoSystem_® 機器のアドレスを設定する

「Address All」(全アドレス設定) コマンドを使用すると、「Build System」(システム構築) コマンドを実行することなく、EcoSystem® 機器をシステムに追加/変更する ことができます (これにより、既存の全プログラミング情報の消去を避けることがで きます)。

「Address All」コマンドは、交換するEcoSystem®機器を、システムに追加する新規の機器として扱うため、合計機器数に、新規または交換した機器が追加されます。

注: システムに EcoSystem_® 機器がすでに 64 台接続されている場合、機器の交換に は「Build System」コマンドを実行する必要があります。







x Found

x Loads Found

内蔵接点入力 (CCI) のセットアップ

(GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに直接配線されている場合)

GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの背面に設置されている、内蔵接点入力 (CCI) は次のように設定することができます:

Occupancy (人感センサーモード: 初期設定): 配線されている人感センサーで、 検出時の動作を設定すると、利用可能なセンサーに組み入れます。

Afterhours (営業時間外モード): CCI で営業時間外モードの開始および終了ができます。

Timeclock (タイムクロックモード): CCI でタイムクロックがオンおよびオフができます。

Lockout (ロックモード): どのような変更もできないように、コントロールユニットをロックします。CCI により通常作動 が開始されるまで、この状態を保ちます。

<u>Never Save (保存しないモード)</u>: CCI 使用中は、どのような変更も保存できないようにします。

<u>Disable CCI (内蔵接点入力オフ)</u>: CCI によるシステムを操作をオフにします。また、センサー セットアップメニューの利用可能センサーに CCI が表示されなくなります。

接点入力のモードを変更:





(次ページに続く)



内蔵接点入力 (CCI) のセットアップ (続き) (GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに直接配線されている場合)

GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの背面に設置されている、内蔵型の接点入力 (CCI) は、次のいずれのタイプの接点機器でも使用することができます:

<u>Maintained (連続: 初期設定):</u> GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、接点が閉じた際も、また接点のオープンによっても作動します。

例: CCI モードを営業時間外にすると、接点が閉じると営業時間外を開始し、接点が開くと営業時間外が終了します。

Momentary (ワンショット): GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、接点が閉じら れた場合のみ作動します。例: CCI モードを営業時間外にすると、接点が閉じると営業 時間外を開始し、接点が開いても変化はありません。次に接点が閉じたときに営業時 間外モードが終了します。接点入力のタイプを変更:







人感センサーのセットアップ

Lutron® 人感センサーを接続すると、GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロールユニットはセンサーの感知により自動的に照明レベルを調整します。

<u>有線接続タイプの</u>人感センサーは、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの接点入力や、QS センサーモジュール (QSM)、GRAFIK Eye® QS システムの接点インターフェース、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットにアドレス設定されている EcoSystem® 機器に 接続することができます。



<u>ワイヤレスタイプの</u> Radio Powr Savrm 人感センサーは、GRAFIK Eye® QS ワイヤレスまたは QSM と接続することができます。ワイヤレスセンサーは、GRAFIK Eye® QS ワイヤレスシステムに認識させる前に、まずこれらの機器とワイヤレス接続する必要があります。 メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。



GRAFIK Eye® QS コントロールユニットで人感センサーをプログラムするには、事前に次の手順が必要です。

1.有線またはワイヤレスタイプのセンサーを接続/ワイヤレス接続します。
 2.動作モードを選択します (シーンまたはゾーンコントロール)。
 3.センサーを選択します。
 4.センサーの動作を選択します。
 5.センサーの設定を行ないます (オプション)。



ワイヤレス人感センサーと GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロールユニットを接続す る (ワイヤレス対応ユニットのみ): メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。 . -¥ マスターボ 1. GRAFIK Eve® QS コントロールユニットのモードが「オン」にな Main menu タン (¹⁶¹⁶) ОК っていることを確認します。 \Box -OK ボタン Zone Setup 2. プログラミングモードを起動します。 Sensor Setup 3. マスターボタンで、「Sensor setup」にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します。 タイムクロ ック (戻る) 4. マスターボタンで「Add wireless sensors」にカーソルを合わ ボタン Sensor Setup せ、OK ボタンを押します。 Test: 5. センサーの「Lights Off」またはQボタンを、センサーが点滅する Add wireless sensors まで 6 秒間押し続けます。GRAFIK Eye® QS コントロールユニッ Daylight トのディスプレイに、センサーのシリアル番号が表示されます。 6. GRAFIK Eve® QS コントロールユニットの OK ボタンを押し O Lights O ます。デイスプレイに、センサーが接続されたことが示され Add wireless sensors ます。(ワイヤレス光センサーを GRAFIK Eye® QS コントロー ルユニットから解除し、購入時の状態にセンサーを戻す場合 センサーの 〔Lights Initiate association は、Radio Powr Savrm 光センサーの取付説明書をご参照くだ Off」またはビボタ of sensors ンを さい。解除すると、GRAFIK Eve® QS コントロールユニットか らそのプログラミングも消去されます。 7. 上記の手順を、ワイヤレス接続するすべてのセンサーで繰り返し Occupancy ます。 8. プログラミングモードを終了します。 XXXX-XXXX QS センサーモジュール経由でワイヤレス光センサ Press OK to Save Radio Powr Savrm ーをワイヤレス接続する: 光センサー 1. QSM のプログラムボタンを 3 秒間押し続け、プログラミング モードを起動します。ピーという音が1回聞こえ、ステータス LED が点滅を始めます。GRAFIK Eye® QS コントロールユニット *Assigned* のディスプレイに、QSM がプログラミングモードになったこと が表示されます。 2. 光センサーの「Lights Off」またはQを6秒間押し続けま す。QSM から、接続を確認するピーという音が 3 回聞こえま プログラムボタン す。 3. QSM のプログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミン -グモードが終了します。

> **注:** ワイヤレス信号の通信可能範囲は通常構造通過で9m、 見通しで18mです。



QS センサーモジュール

(QSM)

人感センサーのセットアップ

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。 GRAFIK Eye® QS システムへ給電されると (初回)、まず接点入力に接続された人感セン サー (および接続されている最初の 3 台の Radio Powr Savrm 人感センサー) は、自動的 にシーンモードで作動を開始します。初期設定では、在室の場合"動作なし"、無人の場 合"シーンオフ"になっています。その他のセンサーの追加や、代替機能を使用する場合 は、必要なプログラミングをすべて行なってください。

動作モードを選択する

能LUTRON®

シーンモード(初期設定)は、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットが、1部屋や1
 つのエリアをコントロールする場合に便利なモードです。GRAFIK Eye® QS コントロールユニットには、在室の場合に特定のシーンを開始し、無人の場合には別のシーン
 を作動させることができるセンサーを、最大4台まで接続することができます。
 ゾーンモードは、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットが、複数の部屋やエリアの
 照明をコントロールする場合に便利なモードです。各ゾーンに最大4台までセンタ

ーを接続することでき (1 台のセンサーは複数のゾーンに接続することも可能)、在室の場合と無人の場合に、ご希望のレベルへ各ゾーンの照明を変更します。

Main menu	1. プログラミングモードを起動します。
Zone Setup	2. マスターボタンで、「Sensor setup」 にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します。
Sensor Setup	3. マスターボタンで「Occupancy」 にカーソルを合わせ、OKボタ ンを押します。
Sensor Setup	4. マスターボタンで、「Mode」 にカーソルを合わせ、OK ボタン を押します。
Daylight Occupancy	5. マスターボタンで、センサーを各ゾーンに割当てるための「Zone Mode」か、「Scene Mode」(初期設定)にカーソルを合わせま す。OK ボタンを押して決定します。モードが選択されたことを 示す「Saved」がディスプレイに表示され、光センサー画面に戻 ります
Occ Sensor Mode Actions	注: モードを変更すると、以前の人感センサー割当てはすべて消 去されます。
Occ Sensor Scene Mode	もしくは Zone Mode Saved



人感センサーのセットアップ

Scene Mode

この手順を行なうことで、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットへ、最大で4 台の人感センサーを接続することができます。

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。



 Image: Second state
 マスターボ タン

 OK
 マスターボ タン

 OK
 マスターボ タン

 OK
 ボタン

 タイムクロ ック(戻る) ボタン



人感センサーのセットアップ

Zone Mode

この手順を行なうことで、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットへ、1 ゾーンにつき最大 4 台の人感センサーを接続することができます。センサーは 1 つのゾーンに複数台追加するこ とも可能です。

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。

センサーを選択する **Occ Sensor** 1. センサーをユニットに接続し、「Zone Mode」に設定します (これま Setup でにこの手順を行なっていない場合)。 2. マスターボタンで「Setup」にカーソルを合わせ、OK ボタンを押し Labels ます。 3.1 ゾーンにつき最大4台までセンサーを割当てることができ、1台の センサーを複数のゾーンに割当てることも可能です。マスターボタン を使用してセンサーを順に表示し、割当てまたは割当てを解除するセ ンサーにカーソルを合わせ、OK ボタンを押して選択します。 Searching 4. 割当てるゾーンのゾーン アップ/ダウンボタンを押して、センサーを 割当てまたは解除します。 ゾーン アップボタンで表示されているセ ンサーを割当て、ダウンボタンで解除することができます。タイムク ロック (戻る) ボタンを押して利用可能なセンサーのリストに戻りま x/y Sensor す。センサーが割当てられると、アスタリスクマーク (*) がセンサー のリストに表示されます。その他のセンサーについても同じ手順を繰 XXXX-XXXX り返します。 RF 注:ワイヤレスセンサーが認識されない場合、適切にコントロー ルユニットへワイヤレス接続されているか確認してください。 センサーの動作を設定する Sensor 1. タイムクロック (戻る) ボタンを押して、人感センサーの画面に戻りま す。マスターボタンで、「Actions」にカーソルを合わせ、OK ボタン Set Zones を押します。 2. ゾーン アップ/ダウンボタンを押して、人が感知されている場合の照 明レベルを調整し、OK ボタンを押します。 ゾーンを無変化にするには、照明レベルをオフにまで下げ、さらにゾ *x/y Sensor ーン ダウンボタンを 3 秒間押し続けます。ディスプレイには 「---」 が表示され、中央3つのゾーン LED が点灯して、そのゾーンが該当 XXXX-XXXX のシーンで無変化になっている (そのゾーンでは該当のシーンが作動 RF しない) ことを知らせます。 3. ゾーン アップ/ダウンボタンを押して、無人の場合の照明レベルを調 整し、OK ボタンを押します。

4. プログラミングモードを終了します。





人感センサーのセットアップ

人感センサー名を作成する (オプション) メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。

- Main menu1. プログラミングモードを起動します。Zone Setup2. マスターボタンで、「Sensor Setup」にカーソルを合わせ、OK
ボタンを押します。Sensor Setup3. マスターボタンで「Occupancy」にカーソルを合わせ、OKボタ
ンを押します。
 - 4. マスターボタンで「Labels」 にカーソルを合わせ、OK ボタンを 押します。
 - 5. マスターボタンで名前を作成する人感センサーを表示し、OK ボ タンを押します。
 - 6. マスターボタンでアルファベット(小文字、大文字、数字の0~9 まで)を順に表示します。現在入力している箇所の文字に下線が 表示されます。入力したいアルファベットが表示されたら、OK を押し、人感センサー名が完全に入力されるまでこの操作を繰り 返します。文字を入力しない部分は、スペースを入力し OK を押 します。入力が完了したら、OK ボタンを押して決定します。デ ィスプレイには、センサー名が保存されたことを示す「Saved」 が表示されます。その他の名前を作成するセンサーについても同 じ手順を繰り返します。
 - 7. プログラミングモードを終了します。





Sensor Setup

Daylight

Occupancy

Occ Sensor

Labels

Settings



人感センサーのセットアップ

人感センサーの設定を行なう (オプション)

Main menu	人感センサーの設定
7	注:各設定は、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットへ接続さ
Zone Setup	れているすべてのセンサーで有効となります。
Sensor Setup	メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用され
	る可否をご確認くたざい。
Sensor Setup	<u>Grace Period (保留時設定):</u> GRAFIK Eye® QS コントロールユニ いたが、毎人の状態へ移行している際。この保知時にたしらか
	の動きが検知されると昭明が直前の在室しべ山に至ります
Daylight	設定可能範囲: 15~30 秒 (初期設定は 15 秒)。
Occupancy	Vacancy Delay (無人ディレイ設定): 無人状態が検出された後、
	無人時のシーンが開始する前に、ディレイを追加します。十分
Occ Sensor	なディレイがない場合に、この設定を使用してください。
	設定可能範囲: 0~30 秒 (初期設定は 0 秒)。
Settings	Auto Turnoff (目動オフ設定): 人感センサーか在室を感知する前
Diagnostics	に、セノサーに接続している照明をオノにした場合にも、一正 のディレイの後、白動で昭明がオフにたろよう GBAFIK Even
	QSコントロールユニットを設定することができます。ディレ
Settings	イ時間を0(無効)に設定すると、この機能は無効になります。
	設定可能範囲: オフまたは 1~30 秒 (初期設定はオフ)。
Auto Turnoff	Zone Fade (ゾーンフェード設定): ゾーンモードの際に、設定し
Zone Fade	た時間が過ぎると、照明を無人レベルまでフェードすることが
	(ごさより。設定範囲: U~59 秒、1~10 分 (初期設定は 10 秒)。
Auto Turnoff	センサーの設定を行なつ:
5 minutes	2. マスター小ダノで、「Sensor Setup」にカーソルを合わ サーOK ボタンを押します
▼	$3 \nabla x \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \nabla x \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2}$
	タンを押します。
¥	4. マスターボタンで、「Settings」 にカーソルを合わせ、OK ボ
	タンを押します。
Saved	5. マスターボタンで設定を行なう項目にカーソルを合わせ、OK
	ボタンを押して決定します。
	6. マスターホタンで選択した設定の数値を選ひ、OK ボタンを押
	して不足しより。 7 ディスプレイには 恐定が促ちされたてとた子才「の〜〜」が
	え、シュスノレゴには、 WED 体子でもしてしてでかり「Saved」か 表示されます。

8. プログラミングモードを終了します。



診LUTRON®
Lutron® 光センサーを接続すると、GRAFIK Eye® QS ワイヤレスコントロールは、室内に入る自然光の変化に合わせ、照明レベルを自動的に調整します。

<u>有線接続タイプの</u>光センサーは QS システムの QS センサーモジュール (QSM) または GRAFIK Eye® QS コントロールユニットにアドレス設定されている EcoSystem® 機器に接続することができます。



<u>ワイヤレスタイプの</u> Radio Powr Savr™ 光センサーは、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットまたは QSM に接続することができま す。ワイヤレスセンサーは、GRAFIK Eye® QS ワイヤレスシステムに認識させる前に、まずこれらの機器の 1 つとワイヤレス接続させ る必要があります。

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。



GRAFIK Eye® QS コントロールユニットで光センサーをプログラムするには、事前に次の手順が必要です。各手順の詳細説明は次のページをご覧ください。

1.有線またはワイヤレスタイプのセンサーを接続/ワイヤレス接続します。

2.動作モードを選択します: (ゾーンまたはグループコントロール)。(グループモードを選択する場合は、グループを構築してください。)

- 3. センサーをゾーンまたはグループに割当てます。
- 4.自然光に対し適切な応答をするか、システムを較正します。

注: 光センサーの機能は、DMX 負荷タイプには対応していません。



ワイヤレス光センサーと GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロールユニットを接続する (ワイヤレス対応ユニットのみ):

メモ:ワイヤレス対応:	ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。	
Main menu	1. GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのモードが「オン」になっていることを確認します	
Zone Setup	2 プログラミングモードを記動します。	
Sensor Setup	3. マスターボタンで、「Sensor setup」にカーソルを合わせ、OK	
V		
Sensor Setup	4. マスター小タンで「Add Wireless sensors」にカークルを合わ せ、OK ボタンを押します。	
Add wireless sensors	5. センサーのリンクボタンを、センサーが点滅するまで 3 秒間押し 続けます。GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのディスプレ イに、センサーのシリアル番号が表示されます。	
Add wireless sensors	6. GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの OK ボタンを押し ます。ディスプレイに、センサーが接続されたことが示され ます。(ワイヤレス光センサーを GBAFIK Eve® QS コントロー	F
Initiate association of sensors	ルユニットから解除し、購入時の状態にセンサーを戻す場合 は、Radio Powr Savrm 光センサーの取付説明書をご参照くだ さい。解除すると、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットか らそのプログラミングも消去されます。	,
Daylight	7. 上記の手順を、ワイヤレス接続するすべてのセンサーで繰り返し ます。	l
XXXX-XXXX	8. プログラミングモードを終了します。	/
Press OK to Save	QS センサーモジュール経由でワイヤレス光センサ	
—	ーをリイヤレス按約9る: 1 OSM のプログラムギタンた 2 孙明畑」 結け プログラミング	
Assigned	T. QSM のクロククムホタンを3 秒间秤し続け、クロククミング モードを起動します。ピーという音が1回聞こえ、ステータス LED が点滅を始めます。GRAFIK Eye® QS コントロールユニッ トのディスプレイに、QSM がプログラミングモードになったこ とが表示されます。	
	2. 光センサーのリンクボタンを 6 秒間押し続けます。QSM から、 接続を確認するピーという音が 3 回聞こえます	
	3. QSM のプログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミン	
	クモートの終了しより。	

注: ワイヤレス信号の通信可能範囲は通常構造通過で9m、 見通しで18mです。





モードを設定する

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。 <u>Zone Mode (</u>ゾーンモード: 初期設定) は、GRAFIK Eye® QS コントロールユニット が、複数の部屋やエリアの照明をコントロールする場合に便利なモードです。ゾーン モ

ードにより、各ゾーンの照明レベルは、計測した自然光のレベルに応じて調整されます。各ゾーンに割当てられるセンサーは1台までです(ただし1台のセンサーを複数のゾーンに割当てることは可能です)。各ゾーンはそれぞれ、特定の照明レベルのタ ーゲットを設定することができます。

Group Mode (グループモード) は、光センサーを使用する照明のグループが複数のゾ ーンに渡る場合に便利なモードです。システム内のいずれの EcoSystem® 負荷でも、 グループを構成することができます。便宜上、電源電圧負荷タイプ (ゾーン 1~3 のみ) に設定されているゾーンは、利用可能なグループに含まれます。各グループに割当て られるセンサーは 1 台までです (ただし 1 台のセンサーを複数のグループに割当てる ことは可能です)。各部グループにはそれぞれ、照明レベルの目標値を設定することが できます。









Zone Mode

この手順を行なうことで、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのゾーンへ、センサーを割当 てることができます。各ゾーンに割当てられるセンサーは1台までですが、1台のセンサーを複 数のゾーンに割当てることは可能です。

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。

Davlight Sonsor	センサーを選択する	
Setup	1. 光センサーをユニットに接続し、「Zone Mode」に設定します	
Calibrate	2. マスターボタンで、「Setup」にカーソルを合わせ、OK ボタンを押し ます。	
Searching	 マスターボタンを使用してセンサーを順に表示し、割当てまたは解除したいセンサーにカーソルを合わせ、OKボタンを押して選択します。 割当てるゾーンのゾーン アップ/ダウンボタンを押して、ゾーンにセンサーを割当てまたは解除します。ゾーン アップボタンで表示されているセンサーを割当て、ダウンボタンで解除することができます。タイムクロック(戻る)ボタンを押して利用可能なセンサーのリストに戻ります。その他のセンサーについても同じ手順を繰り返します。 	
Sensor X/Y	 センサーを較正する 1. 較正するゾーンに割当てられている Radio Powr Savrm 光セン サーのいずれかを、較正モードにします。較正モードにするには、 センサーが点滅を始めるまで、較正ボタンを 6 秒間押し続けます。 注: 5 分経過すると、センサーは較正モードから通常のモードに戻り 	
Sensor	ます。 2. タイムクロック (戻る) ボタンを押して光センサーの画面に戻ります。 マスターボタンで、「Calibrate」(較正) にカーソルを合わせ、OK ボタ ンを押します。 3. マスターボタンで「desired zone」 にカーソルを合わせ、OK ボタンを	2
	 押します。 4. マスターボタンを使用し、そのゾーンで較正する照明レベルを選択して、OK ボタンを押します。較正するすべてのゾーン照明レベルで同様の手順を繰り返します。 5. プログラミングモードを終了します。 注: ワイヤレスセンサーが認識されない場合、適切にコントロールユニットへワイヤレス接続されているか確認してください。 	
Daylight Sens Setup Calibrate	Sor Sensor Name Adjust Light Saved Saved	
彩LUTRO	N _® EcoSystem₀ 5	対応 GRAFI





光センサーのセットアップ

Group Mode

この手順を行なうことで、EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニット へ接続されている、EcoSystem® 機器グループへ、光センサーを割当てることができま す。電源電圧ゾーンへもこのモードを使用して、光センサーを割当てることが可能で す。各グループに割当てられるセンサーは1台までです (ただしセンサーを複数のグル ープに割当てることは可能です)。

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。

Daylight Sensor	グループを設定する
Daylight Groups	1. 光センサーをユニットに接続し (これまでにこの手順を行なって
Setup	2. マスターボタンで「Daylight Groups」 にカーソルを合わせ、OK
•	
Configure Groups	ます。EcoSystem® 負荷のグループを、最大で 16 グループまで 設定することができます。OK ボタンを押して決定します。
Group 1	4. マスターボタンで、リンク上の EcoSystem® 機器を順に表示しま
	す。OK ボダンを押して、選択した機器を追加または削除すること とができます。現在選択されている機器について、現在の割当て 状況が表示されます:
Group 1	Unassigned (未割当て) いずれのグループにも割当てられて
Ballast 2/23	いない場合
Unassigned	Assigned (割当て済み) 選択 (表示) されているグループに割 当てられている場合
もしくは	Group (グループ) その他のグループに割当てられている場合 5. タイムクロック (戻ろ) ボタンを押して、利田可能たグループの表
Group 1	っに戻り、この手順を繰り返して、各機器をその他のグループに 割当てます。
Ballast 2/23	注:各 EcoSystem® 機器を、割当てられるグループは 1 つだけで
Assigned	す。あるグループへすでに割当てられている機器をその他のグループへ割当てた場合、以前の割当ては無効となります。
もしくは	
Group 1	(次ページに続く)
Ballast 2/23	
Group 2	





Calibrate

グループモード (続き)

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。



Less light





光センサー名を作成する (オプション)

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。

- 1. プログラミングモードを起動します。 Main menu 2. マスターボタンで、「Sensor Setup」にカーソルを合わせ、OK Zone Setup ボタンを押します。 Sensor Setup 3. マスターボタンで、 「Daylight」にカーソルを合わせ、OK ボタ ンを押します。 4. マスターボタンで「Labels」 にカーソルを合わせ、OK ボタンを Sensor Setup 押します。 5. マスターボタンで名前を作成する光センサーを表示し、OK ボタ Daylight ンを押します。 Occupancy 6. マスターボタンでアルファベット(小文字、大文字、数字の0~9 まで)を順に表示します。現在入力している箇所の文字に下線が 表示されます。入力したいアルファベットが表示されたら、OK **Daylight Sensor**
 - を押し、人感センサー名が完全に入力されるまでこの操作を繰り 返します。文字を入力しない部分は、スペースを入力し OK を押 します。入力が完了したら、OK ボタンを押して決定します。デ ィスプレイには、センサー名が保存されたことを示す「Saved」 が表示されます。その他の名前を作成するセンサーについても同 じ手順を繰り返します。



7. プログラミングモードを終了します。



Labels

Diagnostics





Pico® ワイヤレスコントロールのセットアップ

ルートロンの Pico® ワイヤレスコントロールは、GRAFIK Eye® QS システムに接続して、特定のゾーンの照明レベルをコントロールしたり、シーンをコントロールすることができます。Pico® ワイヤレスコントロールは、GRAFIK Eye® ワイヤレス コントロールユニットに直接ワイヤレス接続することも、QS リンクに配線されている QS センサーモジュール (QSM) を経由して有線/ワイヤレスタイプの GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに接続することも可能です。

メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。



Pico® ワイヤレスコントロールの機能

	ゾーン機能	シーン機能
一番上の (オン) ボタン	割当てられているすべてのゾーンを 100%	Scene 1
中央 (プリセット) ボタン (備えている場合)	割当てられているすべてのゾーンを、あら かじめ設定されているプリセットレベルへ (ボタンを長押しすることにより、現在の 照明レベルを、プリセットとして保存)	Scene 16
アップ/ダウンボタン (備えている場合)	割当てられているすべてのゾーンの照度 を変更	現在シーンが設定されているすべてのゾ ーンの照度を変更
一番下の (オフ) ボタン	割当てられているすべてのゾーンをオフ	Scene Off



Pico_® ワイヤレスコントロールのセットアップ

Pico® ワイヤレスコントロールを GRAFIK Eye® QS ワイヤレスコントロールユニットと連動する: (ワイヤレス対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのみ) メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。



Pico® ワイ ヤレスコン トロール 一番下/オ フボタン

Pico® ワイヤレスコントロールのセットアップ

または

Pico® ワイヤレスコントロールを QS センサーモジュール (QSM) 経由で接続する:(有線 またはワイヤレス対応 GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの場合) メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用される可否をご確認ください。

- QSM のプログラムボタンを 3 秒間押し続け、プログラミング モードを起動します。ピーという音が一回間こえ、ステータス LED が点滅を始めます。GRAFIK Eye® QS コントロールユニッ トのディスプレイに、QSM がプログラミングモードになったこ とが表示されます。
 - 2. Pico® ワイヤレス コントロールの一番下のボタンを 6 秒間押し 続けます。QSM から、接続を確認するピーという音が 3 回聞こ えます。
 - 3. QSM のプログラムボタンを 3 秒間押し続けると、プログラミン グモードが終了します。
 - Pico® ワイヤレスコントロールの一番上 (オン) と一番下 (オフ) のボタンを、Pico® ワイヤレスコントロールの LED がゆっくり と点滅するまで、3 秒間押します。GRAFIK Eye® QS コントロ ールユニットの OK ボタンを押して、Pico® ワイヤレスコント ロールの機能モードを選択します。
 - 5a. Pico® ワイヤレスコントロールで <u>ゾーン</u>をコントロールする 場合、マスターボタンで「Zone」を選択し、OK ボタンを押し ます。ゾーンアップ/ダウンボタンで、ゾーンのレベルを選択し たら、ゾーンアップ/ダウンボタンを同時に1秒間押します(ゾ ーン LED がプログラミングしたプリセットレベルで点滅する まで)。Pico® ワイヤレスコントロールでコントロールするすべ てのゾーンでこの手順を繰り返します。







QSM

OSM

Programming

Change type?

Change type?

Zone

もしくは

Scene

Change type?

Press OK

- 5b. Pico® ワイヤレスコントロールで <u>シーン</u>をコントロールする 場合、マスターボタンで「Scene」を選択し、OK ボタンを押し ます。GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロールユニットの 一番上のシーンボタンを 3 秒間押し続けます (シーン LED が点 滅を開始するまで)。
- Pico® ワイヤレスコントロールの一番上 (オン) と一番下 (オフ) のボタンを、Pico® ワイヤレスコントロールのLED が点滅を停 止するまで、3 秒間押します。



GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、前面にある赤外線受信部を通じて、赤外線 リモコンで直接コントロールすることができます。外部電源から給電されている赤外線 リピーターも同様に、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの 赤外線端子に接続し、



リモコンでコントロールすることが可能です。これは、GRAFIK Eye® QS コントロール ユニットへ他社製品 (ホームシアター機器など) を接続する場合になどに便利な機能 です。GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの 赤外線機能をプログラミングするコマ ンドの詳細は www.lutron.com/qs をご覧ください。



赤外線リモコンはまた、QS センサーモジュール (QSM) に配線されている Lutron® 赤外 線受信装置やQS IR Eye を通じて、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットを操作し、 特定のゾーンの照明レベルやシーンをコントロールすることが可能です。QSM に配線 されている QS IR Eye および 赤外線受信装置は、GRAFIK Eye® QS システムに認識さ せる前に GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに接続しておく必要があります。





GRAFIK Eye_® QS コントロールユニットの 赤外線受光部をオンまたはオフにする:





QS IR Eye を利用すると、使用している赤外線リモコンに応じて、さらに高度なシーンコントロール が可能になります。GRAFIK Eye® QS コントロールユニットを適切なモードに変更する (下表参照):

赤外線リモコン	コントロールモード
GRX-IT	4 ボタン & オフ または 5 ボタン
GRX-8IT	8 ボタン & Off
MIR-ITFS	お気に入りまたはゾーンコントロール
C-FLRC	お気に入りまたはゾーンコントロール
他社製赤外線リモコン	初期設定

<u>GRAFIK Eye® QS</u>コントロールユニットに QS IR Eye を接続する:

IR Eye		注: Lutron® リモコン GRX-IT および GRX-8IT、または他社製赤外線リモコンを		•
Change type?	4	ご利用の場合。		•
Press OK	1.	が外線りモゴノを QS IR Eye に向けます。 ワモゴノの一番エと一番下のホタノを、QS IR Eye の LED がゆっくりと点滅するまで、3 秒間押して、プログラミ		
+	2	ングモードを起動します。 GBAFIK Even QS ワイヤレス コントロールフェットの一番上のシーンボタンを		
Change type?	2.	3 秒間押し続けます。シーン LED が点滅し、QS IR Eye が接続されたことを示	• —	
Coope	0	します。OK ボタンを押して次の手順に進みます。		
Scelle	3. 4.	マスターボタンで、「Scene」にカークルを合わせ、OK ホタノを押します。 マスターボタンで、QS IR Eve で使用するリモコンに対応する、シーンのコント		
		ロールモード (下に表示)を選択し、OK ボタンを押して決定します。		
*		「Default」以外を選択した場合、ディスプレイには、赤外線リモコンの一番上のボタンに対応させるシーンの促補がまテナれます。マスターボタンで対応さ		
Change type?		せるシーンを選択し、OK ボタンを押して決定します。ディスプレイには、設定		
Default Scene		が保存されたことを示す「saved」が表示されます。		
•		注: □Default」を選択すると、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに伝送さ れる いずれかのシーンコマンドを記動します。		
T	5.	赤外線リモコンを QS IR Eye に向けます。リモコンの一番上と一番下のボタン	GRX-IT	G
Button Setup		を3秒間押し続け、プログラミングモードを終了します。		
 _				
First 1 Scene				
			(
*				
				QS IR Eye
Saved				





. LED

GRAFIK Eye® QS コントロールユニットに QS IR Eye を接続する (続き):





MIR-ITFS C-FLRC マスターボ

タン

OK ボ

一番上の

シーンボ

3 秒間押

し、QS IR Eye を

ユニット

へ接続

ゾーンLED

ゾーン アップ

ゾーン ダウン

LED

タンを

タン

QS センサーモジュール (QSM) 経由で赤外線受信装置を接続する:





小フト稼▽16装置 (有線接続)



Sivoia® QS ロールスクリーン/ドレープリーと GRAFIK Eye® QS

コントロールユニットを接続する:

GRAFIK Eye® QS システムが、Sivoia® QS ロールスクリーン (またはドレープリー) と、電動カーテンボタン を備えている GRAFIK Eye® QS で構成されている場合、コントロールユニットの電動カーテンボタンに割当 てると、電動カーテンを直接コントロールすることができます。

<u>GRAFIK Eye® QS コントロールユニット</u> に直接配線されている <u>Sivoia® QS ロール</u> スクリーン/ドレープリーの場合:	<u>ワイヤレスSivoia_® QS ロールスクリーンの場合:</u> メモ:ワイヤレス対応ユニットのみの情報。お住まいの地域で適用さ れる可否をご確認ください。	
 ロールスクリーンを電動カーテンボタン に割当てるまたは割当てを解除する: ロールスクリーンを割当てる GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの電動カ ーテンボタンで、電動カーテンプログラ ミングモードを起動します。一番上(開) と下のボタン(閉)を同時に 3 秒間押し続 けます。一番上と下の LED が点滅を始め ます。未割当てのロールスクリーンは開 き、すでに割当てられているロールスク リーンは閉じます。 一番上のボタン(開)を軽く押し、割当て を開始します。 一番上(開)を軽く数回押すと、アドレス を順に繰り返し表示します。また、下の ボタン(閉)を同じように押すと、逆の順 序でアドレスが表示されます。 電動カーテンボタンのダウンボタンを押 すと、そのロールスクリーンの割当 	 ロールスクリーンを電動カーテンボタンに割当てる: 1.GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのワイヤレスモードが「オン」になっていることを確認します。 2.電動カーテンを割当てる GRAFIK Eye® QS コントロールユニットの電動カーテン ボタン列の一番上(開)と下(閉)を同時に3秒間押し続け、電動カーテン プログラミングモードを起動します。一番上と下の LED が点滅を始めます。 3.電子ドライブユニット (EDU) の LED と未割当てのロールスクリーン/ドレープリーのワイヤレスアンテナが、ゆっくりと点滅を始めます。電動カーテン ボタン列に割当てるロールスクリーン/ドレープリーのいずれかのボタンを軽く押します。EDU の LED が高速点滅を始め、ロールスクリーンがGRAFIK Eye® QS コントロールユニットのボタンに割当てられたことを示します。 4.その他のロールスクリーンをボタンに割当てる場合は、手順2を繰り返します。 5.一番上(開)と下のボタン(閉)を同時に3秒間押し続け、プログラミングモードを終了します。一番上と下の LED の点滅が止まります。 6.必要に応じて、その他のボタン列でも手順1から5を繰り返します。 	・Open ・Preset ・Close ・ に ED
 ダウンボタン:割当てるときに押す るときに押す 5. 電動カーテンプログラミングモードを終了します。一番上(開)と下のボタン(閉)を同時に3秒間押し続けます。一番上と下のLEDの点滅が止まります。 	 ロールスクリーンの電動カーテンボタンへの割当てを <u>解除する</u>: 上記のロールスクリーン/ドレープリーを割当てる手順を同じ 順序で行ないます。電動カーテンプログラミングモードになったら、電動カーテンボタンから解除する、ロールスクリー ン/ドレープリーの EDU のボタンを軽く押します。EDU とア ンテナにあるグリーンの LED が高速点滅を始め、ロールスク リーンが GRAFIK Eye® QS コントロールユニットのボタンから 解除されたことを示します。 注: ワイヤレス信号の通信可能範囲は通常構造物通過で 9 m、 見通しで 18 m です。 	Sivoia。QS ワイヤ レスロールスクリ ーン/ドレープリ ー EDU

EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS 取付・取扱説明書 52

トロ

電動カーテン設定を調整する (有線およびワイヤレス Sivoia® QS ロールスクリーン/ドレープリーの場合)

開下限を設定する

- (有線接続タイプのロールスクリーン/ドレ ープリーのみ)
- 注: 上下限セットアップモードを起動する と、ロールスクリーンが上下に 200 mm 程度上下に動く場合があります。上下限 セットアップモードを起動する前に、各 ロールスクリーンが 200 mm 程度上下に 動いても大丈夫か確認してください。 1.いずれかの電動カーテン ボタン列の一番
- 上とアップボタンを、同時に押し続けま す。一番上と下のボタンの横にある LED が循環点滅を開始します。



上下限セットアップモードになったら、 一番上のボタンを2回続けて軽く押す と、すべてのロールスクリーンを同時 に、現在の上限まで開けることができ、 一番下のボタンを2回続けて軽く押す と、現在の下限まで閉じることができ ます。

注: ロールスクリーン/ドレープリーの電 子ドライブユニット (EDU) は、上下限 を調整する前に、電動カーテンボタン に割り当てておく必要があります。 2.電動カーテンボタンの一番上と下のボタ ンで、調整する EDU を選択します。一 番上のボタンを 1 回押して指を離すごと に、そのボタンに割り当てられている各 EDU が順に 200 mm の幅で上下して、 その EDU が選択されていることを示し ます。

調整するロールスクリーンの EDU が動き 始めるまで、一番上のボタンを軽く押し ていきます (なお、一番下のボタンでも調 整することが可能ですが、割当てられて いる EDU は逆の順序で上下します)。

3.アップおよびダウンボタンを使用して、 選択した EDU を希望の上限の位置まで動 かします。



- 4.電動カーテンボタンの一番上のボタンを5 秒間押し続けると、その位置が上限とし て保存されます。一番上のボタンの横に ある LED が2秒間高速点滅します。
- 5.アップおよびダウンボタンを使用して、 選択した EDU を希望の下限の位置まで閉 じます。
- 6.電動カーテンボタンの一番下のボタンを5 秒間押し続けると、その位置が下限とし て保存されます。一番下のボタンの横に ある LED が2 秒間高速点滅します。

- 7.手順2から6を繰り返して、ボタン列に 割当てられている、各電動カーテンの上 下限を設定します。
- 8.電動カーテンボタンの一番上とアップボ タンを押して、上下限のセットアップモ ードを終了します。
 - 注: GRAFIK Eye® QS コントロールで は、Sivoia® QS ワイヤレス ロールス クリーンの上下限を設定することはで きません。上下限は、ワイヤレス ロー ルスクリーンの EDU を使用して、手 動で設定してください Sivoia® QS ワ イヤレス ロールスクリーンに関する説 明の項をご覧ください)。



電動カーテン設定を調整する (有線およびワイヤレス Sivoia® QS ロールスクリーン/ドレープリーの場合)

プリセットの調整: 簡単な方法

 1.電動カーテンボタンのアップおよびダウ ンボタンで、すべてのロールスクリーン の電子ドライブユニット (EDU) を希望の レベルに調整します。



2.電動カーテンボタンの中央のボタンを 5 秒間押し続けると、その位置が EDU のプ リセットレベルとして保存されます。ボ タンの横の LED が点滅し、その後点灯 して、プリセットが保存されたことを示 します。



注: EDU のプリセットが、電動カーテン ボタンに設定されると、そのEDU が 割当てられているボタン以外ではプリ セットを操作できなくなり、その電動 カーテン ボタン列は、割当てられてい る EDU のプリセットレベル以外、操 作できなくなります。

プリセットの調整: 高度な方法

- プリセットを設定する高度な方法は、ボ タン列に割当てられている複数のロール スクリーンに、それぞれ異なる位置のプ リセットを設定する場合にのみ必要な方 法です。すべてのロールスクリーンのプ リセットを同じ位置にする場合は、左記 の簡単な方法をご利用ください。
- 設定モードを起動すると、ロールスクリ ーンが上下限の間で上下します。上下限 が正しく設定されていることを確認して ください。



- 1. プリセットを調整する電動カーテンボタ ンの一番上と下のボタンを、同時に押し 続けます。ボタンの横にある LED が点滅 を開始します。割当てられているロール スクリーンの EDU が下限まで動き、未割 当てのロールスクリーンの EDU は上限ま で動きます。
- 2.ロールスクリーン ボタン列の中央のボタ ンを1回押すと、横の LED が高速点滅を 開始します。割当てられているロールス クリーンの EDU は、自動的に現在のプリ セット位置まで移動します。

3.アップ/ダウンボタンを押して、割当てら れているすべてのロールスクリーン EDU を同時に、希望のプリセット位置まで動 かします。



- 4.1 つの EDU を個別に、別のプリセット位 置まで動かす場合は、電動カーテン ボタ ン列の一番上のボタンで、その EDU を選 択します。一番上のボタンを一回押して 指を離すごとに、そのボタン列に割り当 てられている各 EDU が順に 200 mm の幅で上下します。調整するロールスク リーンの EDU が動くまで、繰り返しボ タンを押します。アップおよびダウンボ タンを使用して、希望の位置まで、その EDU を調整します。この手順を割当てら れているすべての EDU で繰り返します。
- 5.割当てられている EDU すべてが、希望の プリセット位置に設定されたら、電動カ ーテンボタンの中央ボタンを 5 秒間押し 続け、プリセットを保存します。
- 6.電動カーテンボタンの一番上と下のボタ ンを5秒間押し続けると、通常モードに 戻ります。ボタンの横にある LED の点滅 が止まります。



電動カーテン設定を調整する

(有線およびワイヤレス Sivoia® QS ロールスクリーン/ドレープリーの場合) 電動カーテングループの名前を作成する







7. プログラミングモードを終了します。

複数のGRAFIK Eye QS コントロールユニットを連動する

システムに複数の GRAFIK Eye® QS コン トロールユニットがある場合、特定の機 能を GRAFIK Eye® QS コントロールユニ ット間で通信できるよう、各ユニットを 接続しておくと便利です。

- 有線接続タイプのユニット: プログラミン グされていない GRAFIK Eye® QS コント ロールユニット (有線タイプ)は、QS リン クにはじめて接続されると、リンク上の 別のコントロールユニットから、シーン の起動とマスターボタン操作をコピーし ます。コントロールユニットの連動また は連動解除により、QS リンク上で「話し 手」になるユニットと「聞き手」になる ユニットが決まります。QS リンクに接続 したコントロールユニットはタイムクロ ックと接点の設定もコピーします
- ワイヤレス接続タイプのユニット: GRAFIK Eye® QS ワイヤレス コントロー ルユニットは、シーン起動やマスターボ タン操作をコピーしないため、プログラ ミングする必要があります (2 台のワイ ヤレス コントロールユニットを連動して も、タイムクロックと接点の設定を相互 に送信することはありません)。複数のワ イヤレス コントロールユニットを連動す る際は、両方のユニットのワイヤレスモ ードが「オン」になっていることを確認 してください。
 - **注:** ワイヤレス信号の通信可能範囲は通 常構造物通過で9m、見通しで18m です。

2 台の GRAFIK Eye® QS コントロールユ ニットを連動する:

- 「話し手」(このユニットのボタン操作を 他のコントロールユニットがコピー。下 図ではGRAFIK Eye® QS コントロールユ ニット A が話し手) となる GRAFIK Eye® QS コントロールユニットから操作を開 始します。シーンボタンの一番上と下を LED が点滅するまで (約3秒) 押し続けて ください。
- 2.続いて「聞き手」(このユニットが他のコ ントロールユニットのボタン操作をコピ ー。下図ではGRAFIK Eye® QS コントロ ールユニット B が聞き手) となる GRAFIK Eye® QS コントロールユニットで操作を 行います。一番上のシーンボタンを LED が点滅するまで (約 3 秒) 押し続けてくだ さい。
- 3. 「話し手」(A) となる GRAFIK Eye® QS コ ントロールユニットに戻り、シーンボタ ンの一番上と下を LED が点滅を終了する まで(約3秒)押し続けてください。
- 4.この操作を反対の順序で行なうと、 GRAFIK Eye® QS コントロールユニット A を、GRAFIK Eye® QS コントロールユ ニット B の「聞き手」して、両方のユニ ットがお互いにコピーし合うようにする ことも可能です。
 - 2 台の GRAFIK Eye_® QS コントロールユ ニットの連動を解除する:
 - 接続手順を同じ順序で行ないます。 Bは、1番下のシーンボタンを押し続け ると、解除できます。





「聞き手」となるユニットの一番上のシーン ボタンを3秒間押し続けると連動。一番下の ボタンを3秒間押し続けると「話し手」との 連動を解除。





日時を設定する





所在地を設定する





サマータイムを設定する



- 1. プログラミングモードを開始して、 「Timeclock」を選択します。マス ターボタンで、「DST」(ゾーン設 定) にカーソルを合わせ、OK ボタ ンを押します。
- 2. サマータイムを適用する場合はマ スターボタンで「YES」に、適用 しない場合は「NO」にカーソルを 合わせ、OK ボタンを押して決定し ます。
- 3.「yes」を選択した場合、マスタ ーボタンで「USA 2007」(サマ ータイム適用期間:3月の第2日曜 日~11月の第1日曜日)、または 「Other」(その他)を選択します。 「Other」の場合は、ディスプレイ の表示に従いサマータイムの適用期 間を設定してください。
- 4. OK ボタンを押して決定します。 ディスプレイには、日時が保存さ れたことを示すメッセージが表示 されます。
- 5. プログラミングモード

を終了します。

イベントを追加する Main menu

Timeclock

Scene setup

Timeclock

View events

Add events

Add events

Add events

Add events

T

Monday

Local

Time of dav



2. マスターボタンで、「Timeclock」にカーソルを合わせ、OK ボ
 タンを押します。



- 3. マスターボタンで、「Add events」にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します。
 - 4. マスターボタンで、イベントを設定する日を特定の曜日、平日、週末から選択し、OK ボタンを押します。
- 5. マスターボタンで、タイムクロック イベントのタイプ (ローカルまたはリモート) にカーソルを合わせ、OK ボ タンを押します。
 - ローカルイベントは、その GRAFIK Eye® QS コントロールユニットがコントロールするシーンで起動します。
 - リモートイベントは、リンク上の他の 機器 (Energi Savr Node™ QS など) がコントロールするシーンで起動 します。
 - 注: リモートイベントでは、タイムクロックが内蔵されていない QS リンク機器でも、バーチャルタイムクロック機能が作動しますこれにより GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、他の機器がコントロールしている空間を変化させることなく、その機器でシーンを起動することができます。
- 6. マスターボタンでイベントのタイプを選択し (特定の時刻または日の入り・日の出に合わせる)、OK ボタンを押 します。
- 7. 特定の時刻にイベントを設定するには、マスターボタンで開始時刻を選択し、OK ボタンを押します。同様に分 も入力します。
 - 日の出・日の入りに合わせてイベントを設定にするには、マスターボタンで、日の出・日の入り前後の時間を 時・分の順で設定し、OK ボタンを押します。(最長で日の出・日の入りの前後1時間 59 分まで設定できます)
- 8. マスターボタンを使用して、タイムクロックイベントで起動させたい動作にカーソルを合わせます。
 - シーン 1~16、オフ
 - 電動カーテン グループ 1~3 開またはプリセット、閉
 - 営業時間外モードを開始/終了
 - 人感センサーをオン/オフ
 - 人感センサーイベントをオン/オフ
- 光センサーをオン/オフ
- 9. ディスプレイには、イベントが保存されたことを示す「save」が表示されます。
- 10. その他のイベントを追加する場合は、手順 4~9 を繰り返します。

11. プログラミングモードを終了します Set time ▲ Add events Scene 1 → Saved



イベントを削除する







LUTRON®

特日を設定する





特日を表示する



- 1. プログラミングモードを開始して、 「Timeclock」、続いて「View holiday」 を選択します。
- 2. マスターボタンで、設定した特日の日付 を順に表示します。
- 3. 特日が設定されていない場合、ディスプ レイには、「No Holiday」が表示されま す。
- 4. プログラミングモードを終了します。

特日を削除する



1. プログラミングモードを開始して、 「Timeclock」、続いて「Holidays」、 さらに「Delete holiday」を選択します。

- 2. マスターボタンで削除する特日 (また は「Delete all」) にカーソルを合わ せ、OK ボタンを押します。
- 3. OK ボタンを押して、選択した特日を削除 します。ディスプレイには、特日が削除 されたことを示す「Deleted」が表示され ます。
- 4. プログラミングモードを終了します。



スケジュールをコピーする





スケジュールを削除する



LUTRON®

業務時間外モード

業務時間外モードは、照明を自動的に省エネモード (通常はシーンオフ) にするよう、GRAFIK Eye® QS コントロールユニットを設定す る機能です。この機能により、照明を手動でオンにしても、特定の時間が経過すると自動でオフにすることが可能です。

営業時間外モードが起動すると、照明は点滅し、室内の人に照明が間もなく営業時間外モードへ移行することを知らせます。キーパッドのボタンを押せば、次に再び点滅するまで点灯時間を延長することができます。

GRAFIK Eye® QS コントロールユニットでは、3 種類の営業時間外モードを使用することができます:

- オン: GRAFIK Eye® QS コントロールユニットが、営業時間外モードを起動できるようにします。
- 同調: GRAFIK Eye® QS コントロールユニットが、QS リンク上で接続されている他の機器の営業時間外モード設定を実行します。
- オフ (初期設定): GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、営業時間外モードを起動させません (タイムクロックイベントや接点入力、その他 QS リンク機器からのコマンドを受信した場合も同様です)。
- 注: 営業時間外モードはタイムクロックイベントまたは内蔵接点入力、その他 QS リンクで接続されている機器により、開始または終 了するようにプログラミングする必要があります。GRAFIK Eye® QS コントロールユニットは、営業時間外モードが「オン」また は「同調」に設定されている場合のみ、この機能を起動します。

営業時間外モードの設定内容

点滅回数(Flash count):間もなく営業時間外モードへ以降することを知らせる、照明の点滅回数。

範囲(Range): 点滅回数 0~15 回 (初期設定では 3 回点滅)

ディレイタイム(Delay time): 点滅が終了してから、実際に営業時間外モードが起動されるまでの時間。

範囲(Range): 1~180 分 (初期設定では 15 分)

延長時間(Warn time): 点滅開始後にボタンが押されて延長された場合、システムが再び点滅を始め、営業時間外モードへ移行するまでの時間。

範囲(Range): 1~180 分(初期設定では 5分)

<u>営業時間外モードのシーン(Afterhours scene): *GRAFIK Eye*® QS コントロールユニットが、ディレイタイムが終わり、営業時間外モー ドを起動したときのシーン。</u>範囲(Range): シーン 1~6 (初期設定ではシーン 5)

(次ページの例を参照してください。)



営業時間外モード設定例





営業時間外モードを設定する





営業時間外モードは、 れば、プログラミン 上書きおよび終了す	、一度起動した後であ グメニューからいつでも ることが可能です。
End afterhours	 プログラミングモード を起動します。 マスターボタンで、 「Timeclock」を選択 し、OK ボタンを押し ます。
	 マスターボタンで、 「End Afterhours」 (営業時間外モード終 了) にカーソルを合わせ、OK ボタンを押します。ディスプレイには、モードが終了したことを示すメッセージが表示されます。 プログラミングモード

システム診断および特殊な設定

タイムクロックをオン/オフにする タイムクロックは希望に応じて、オンにもオフにもすることができ





バックライトをオン/オフにする

ディスプレイのバックライトは希望に応じて、オンにもオフにもすることができます。

Backlighting	1. プログラミングモードにして、 「Packlighting」を選択し、OK ボタンを押し
Enabled	 C決定します。 2. マスターボタンで、「Enabled」(オン)または 「Disabled」(オフ)を選択し、OK ボタンを押
•	します。ディスプレイには、設定が保存され
Saved	たことを示す「saved」が表示され ます。 3. プログラミングモードを終了します。

Diagnostics

コントロールユニットの操作について、ルートロンのテク ニカルサポートにお問合せいただく場合、ユニットの 情報をお伺いすることがあります。



プログラミングモードを終了 します。



診断および特殊な設定 (続き)

パスワードを設定する

Reset USB

Password

Password

Disable

Password

Saved

D

4/4

1: ABCD

Set Password

4 桁のパスワードを設定して、GRAFIK Eve® QS コントロールユニットにプ ログラミングした設定を保護することができます。

1. プログラミングモードを起動します。 Diagnostics

- 2. 「Diagnostics」(診断)を選択したら、OK ボタンを押 して決定します。
 - 3. 「Password」を選択したら、OK ボタンを押して決定 します。
 - 4. 「Set Password」を選択したら、OK ボタンを押して 決定します。
- 5. ディスプレイに4桁のパスワード入力画面が表示され たら、マスターボタンでアルファベット(大文字、数 字の 0~9のみ)を順に表示します。現在変更している パスワードの文字は、画面に下線で表示され ます。入力するアルファベットが表示されたら OK を 押し、この操作を繰り返して残りの文字も入力し
 - ます。ディスプレイには、設定が保存されたことを示 す「saved」が表示されます。

 - 6. プログラミングモードを終了します。





パスワードを設定し、プログラミングモ ードに戻ると、パスワード入力画面が表 示されます。上記の手順5の方法で、文 字を選択・入力します。 注:入力した文字は画面上ではアスタリス クマークで表示されます。

Password Set Password Disable

パスワード機能をオフにする場合は、 「パスワードを設定する」の項目に記載 されている 1~4 の手順を行ない、パスワ ードメニューで「Disable」(オフ)を選択 します。

LUTRON®

言語の選択

GRAFIK Eye_® QS コントロールユニット の画面は、次の各言語に変更することが できます:

- 英語
- フランス語
- スペイン語
- ドイツ語
- イタリア語
- ポルトガル語

言語を変更する場合は、ディスプレ イに「Language」が表示されるま で、Timeclock ボタンを押します (注: プ ログラミングモードは起動しないでくだ さい)。 マスターボタンで、使用する 言語を選択し、OK ボタンを 押して保存します。フェース プレートの取り外し

色の変更やゾーン名の記入のため、フェ ースプレートを取り外す必要がある場合 があります。フェースプレートを取り外 すには、取り外す方のフェースプレート を完全に開き (壁と平行になるまで)固定さ れているプレートを上 (上側フェースプレ) ートの場合)または下 (下側フェースプレー トの場合) に引き、ヒンジを差込み口から 取り外します。

元に戻す場合は、ヒンジを再び差し込み ます。







トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対処方法
ユニットの電源が入らない	ブレーカーがオフになっている	ブレーカーをオンにします
ユニットで負荷のコントロールができない	誤配線	ユニットおよび負荷への配線をチェックしてください
ブレーカーがトリップレブいろ	配線に短絡がある	短絡箇所を探し、修正してください
	システムが過負荷状態になっている	ゾーン/ユニットの負荷が定格内になっていることを確認してくださ い (「ゾーンセットアップ」の項目参照)
ゾーンのコントロールができない	誤配線	負荷が正しいゾーンに接続されているか確認してください
ゾーンが正しくコントロールできない	配線に接続不良個所がある	ゾーンの出力線を負荷に正しく接続してください
	電球が切れている。	電球を取り替えてください
	負荷タイプが正しく選択されていない	ゾーンに適切な負荷を割当ててください (「ゾーンセットアップ」の 項目参照)
	調光ゾーンのハイエンド/ローエンドが正しくない	ハイエンド/ローエンドの設定値を調整してください (ゾーンセットア ップ」の項目参照)
1つまたは複数のゾーンが100%オンになり、ゾ	誤配線	負荷が正しいゾーンに接続されているか確認してください
あるゾーンをコントロールすると他のゾーンも 変化する	出力が短絡	配線を確認してください。正しく配線されている場合は、ルートロ ンのテクニカルサポートまでご連絡ください
フェースプレートが暖かい	正常	半導体による制御では接続した負荷の約2%が熱として放出されま す。特に対処する必要ありません
コントロールユニットでシーンの変更やゾーンの 調整ができない	コントロールユニットが適切な保存オプションに なっていない	適切な保存オプションに変更してください
	QS 機器により、ボタン操作がロックされている	QS 機器の各設定と状態を確認してくださいs
「シーンオフ」からのフェードタイムを設定で きない	「シーンオフ」からのフェードタイムを設定する ことはできません。設定できるのは「シーンオ フ」までのフェードタイムのみです	「シーンオフ」からのフェードタイムは3秒で固定されています
内蔵接点入力が機能しない	誤配線	無電圧接点入力の配線を確認してください
	入力接点信号が受信されていない	入力機器が正しく機能しているか確認してください
	ユニットが正しい CCI モード/タイプになってい ない	利用状況に適した CCI モード/タイプに変更してください
リンクに接続している QS 機器が作動しない	QS リンクの低電圧配線に誤配線または接続不良 がある	すべての機器への QS リンク配線を確認してください
	QS 機器がユニットに接続できてない	QS 機器のプログラミングモードを起動し、連動するGRAFIK Eye⊚ QS コントロールユニットの「Scene 1」ボタンを押し続け、連動してく ださい。
	QS 機器が正しくプログラミングされていない。	QS 機器の機能とプログラミングを確認してください
タイムクロックイベントが実行されない	タイムクロックがオフになっている	タイムクロックをオンにしてください
日の出・日没イベントが正しいタイミングで作	時間/日付が正しく設定されていない	正しい時間/日付を設定してください
動しない	所在地が止しく設定されていない	ユニット設置場所の緯度経度を人力してください
	行日の人ケンユールか起動しくいる	行口ひ終」9 ると、 通常の人ケンユールか 再開しま9

トラブルシューティング (続き)

問題	考えられる原因	対処方法
赤外線リモコンでコン トロールしても、機器 が応答しない	赤外線受信装置がオフになっている	赤外線受信装置をオンにしてください
	背面の 赤外線入力端子に誤配線または接 続不良がある	背面の赤外線入力端子配線をチェックしてください
パスワードを入れても プログラミングモード にならない	パスワードが正しく設定されていない	ルートロン テクニカルサポートにお問合せの上、パスワードをリセットしてく ださい

トラブルシューティング: ワイヤレス機能 (ワイヤレス対応ユニットのみ)

問題	考えられる原因	対処方法
ワイヤレス機器をユニ ットに接続できない	ユニットがワイヤレス対応ではない	前面のラベルに「GRAFIK Eye® QSワイヤレス」と記載されていることを確認して ください。
	コントロールユニットが適切なワイヤレ スモードになっていない	ワイヤレスモードを「オン」に変更してください
	すでにユニットへ接続できる機器数の上 限を超えている	そのユニットから別の機器を解除するか、他のユニットに接続してください
	ワイヤレス機器が通信可能範囲外に設置 されている	ワイヤレス機器が適切な範囲内にあるか確認してください。ワイヤレス信号の 通信可能範囲は通常構造通過で9m、見通しで18mです
接続しているワイヤレ ス機器でユニットをコ	ワイヤレス機器がユニットから接続解除 されている	その機器をもう一度ユニットヘワイヤレス接続してください
レントロールできない	機器に電源が供給されていない	機器のバッテリー/電源配線を確認してください
	コントロールユニットが適切なワイヤレ スモードになっていない	適切なワイヤレスモード (「プログラミング無応答」または「オン」) に変更し てください
	ユニットに複数の機器が接続されてい て、各設定が相反している	各ワイヤレス機器の設定が一致していることを確認してください
	ワイヤレス機器が通信可能範囲外に設置 されている	ワイヤレス機器が適切な範囲内にあるか確認してください。ワイヤレス信号の 通信可能範囲は通常構造通過で9m、見通しで18mです
	Radio Powr Savr™ 光センサーが較正モード になっていない	説明に従って光センサーを較正してください
ワイヤレス機器が正し く作動しない	システムが正しく設定されていない	ワイヤレス機器が、使用状況にあった設定になっていることを確認してくだ さい
ワイヤレス機器が特定	設定が保存されなかった	ワイヤレス機器の設定をやり直してください
の機能だけ作動する	ワイヤレス機器が正しい場所に設置され ていない	各機器に関する説明に従い、性能を最大限に発揮できる場所に設置されている ことを確認してください
ディスプレイにワイヤ レス接続を促す画面が 頻繁に表示される	ユニットのワイヤレスモードが「オン」 になっていて、近くの各ワイヤレスシス テムがプログラミングされていることを 確認してください	ワイヤレスモードを「プログラミング無応答」に変更してください

トラブルシューティング:電動カーテン機能

問題	考えられる原因	対処方法
電動カーテン EDU (電子 ドライブユニット) が動 かない	EDU に電源が供給されていない。	EDU に電源を接続してください
	ロールスクリーンが何かに引っかかっ ている	引っかかりがある場合は、外してください
	EDU が電動カーテンボタンに割当てられ ていない	EDU を電動カーテンボタンに割当ててください
電動カーテンボタン で、どのロールスクリ ーンもコントロールで きない	上下限設定がすべて同じ高さになって いる	上下限の設定を確認してください
	通信リンクが EDU に配線されていない	EDU リンクを確認し、必要に応じて配線してください
	EDU がボタンから解除されている	EDU を電動カーテンボタンに再度割当ててください
EDU が完全に開かな い、または閉じない	正しい上下限設定になっていない	正しく上下限を設定してください
	ロールスクリーンが何かに引っかかっ ている	引っかかりがある場合は、外してください
アップ/ダウンボタンを 押すと、ロールスクリ ーンが反対方向に動く	上限および下限の設定が反対になって いる	正しく上下限を設定してください
割当てた電動カーテン ボタンで、操作できな いロールスクリーンが ある	EDU がその電動カーテンボタン から解除 されている	EDU を電動カーテンボタンに再度割当ててください
	上下限設定がすべて同じ高さになって いる	上下限の設定を確認してください
	EDU に誤配線がある	EDU の配線を確認し、必要に応じて再度配線します
	電動カーテンボタンが正しく配線されて いない	電動カーテンボタンの配線をチェックし、必要に応じて再度配線します
ある部屋のロールスク リーンが勝手に動く	その EDU が別の部屋の電動カーテンボタ ンに割当てられている	EDU を再度割当ててください から解除されている
GRAFIK Eye® QS で、Sivoia® QS ワイヤレス ロールス クリーンの上下限設定 ができない.	正常	上下限は Sivoia® QS ワイヤレス EDU で手動で設定する必要があります (Sivoia® QS ワイヤレス ロールスクリーン取付説明書をご覧ください)



トラブルシューティング: EcoSystem_® 機能

問題	考えられる原因	対処方法
「Build System」コマ ンドで EcoSystem₀ 負 荷を検出できない	E1、E2 に誤配線や接続不良がある	確認の上、配線に問題がない場合は、ルートロンのテクニカルサポートまでご連 絡ください
「Build System」また は「Address all」コ マンドを実行した 後、EcoSystem® 機器 をゾーンに追加でき ない	ゾーンが「デジタル」に設定されて いない	ゾーンを「デジタル」に設定してください
EcoSystem® 機器が 100%オンになってお り、コントロールで きない	E1 および E2 が接続されていない	EcoSystem® 対応 GRAFIK Eye® QS の背面にある、E1 および E2 接続を 確認してくださ いEcoSystem® リンクが過負荷になっている
	EcoSystem₀ リンク オーバーロードされ ています	リンクにある EcoSystem₀ 機器を 64 台以下まで減らします。電圧を確認してくださ い。最低電圧は 12 V です。
「Build System」コ マンドを実行して も、EcoSystem⊛ 機器 が点滅しない	EcoSystem® 機器がアドレス設定されて いない EcoSystem® 機器に誤配線がある	EcoSystem® 機器のアドレス設定をしてくださいE1 および E2 配線と EcoSystem® 機器 への電源配線を確認してください
ゾーンのレベルを変 更しても、EcoSystem® 機器がそれに応じた 動作をしない	EcoSystem® 機器がアドレス設定されて いない	「Address all」コマンドを実行して、 EcoSystem® 機器をゾーンに割当ててください
	EcoSystem₀ 機器がゾーンに割当てられ ていない	EcoSystem® 機器をゾーンに割当ててくださいEcoSystem® 機器をゾーンに割当ててください
EcoSystem®機器の照 明レベルを下げるこ とは可能だが、100% オンにすることがで きない	EcoSystem® 機器は、光センサーの感知 によって変化します	接続している光センサーの較正を再度行なってください


保証

ルートロンアスカ株式会社は、その裁量によ り、ご購入より1年間を限度として、ルートロ ンアスカ株式会社の責めに帰すべき事由により 生じた製造上の欠陥のある本製品またはその部 品(付属品を除きます)を修理または交換いた します。修理または交換にあたっては、不具合 の生じたユニットをルートロンアスカ株式会社 に返送していただく必要があります。詳細につ いては、ルートロンアスカ株式会社までお問い 合わせください。

本製品の保証は、本条項記載のものに限られま す。本製品の保証の対象からは、取り付け、配 線、取り外し、誤用、乱用、不十分・不適切な 修理に起因する本製品の不具合、本製品の不具 合により本製品以外の生命、身体、財産に生じ た損害、特別の事情から生じた損害、逸失利益 は除かれます。また、ルートロンアスカ株式会 社が、本製品の製造上の欠陥に起因して生じた 損害につき負う責任は、本製品の購入価格を限 度とします。

本製品の保証に関する準拠法は、日本法としま す。本製品の不具合から生じた紛争について は、東京地方裁判所を、第一審における専属的 合意管轄裁判所とします。

NEC はNational Fire Protection Association, Inc., Quincy, Massachusettsの登録商標です。

Lutron、[©]、Sivoia, seeTouch, EcoSystem, Hi-lume, Pico, GRAFIK Eye は、Lutron Electronics Co., Inc の登録商標であり, Energi Savr Nodeは商標です。 © 2013 Lutron Electronics Co., Inc.

連絡先

Internet: www.lutron.com E-mail: product@lutron.com

WORLD HEADQUARTERS

Lutron Electronics Co., Inc. 7200 Suter Road, Coopersburg, PA 18036-1299 TEL +1.610.282.3800 FAX +1.610.282.1243 Toll-Free 1.888.LUTRON1 Technical Support 1.800.523.9466

North and South America Technical Hotlines

USA, Canada, Caribbean: 1.800.523.9466 Mexico: +1.888.235.2910 Central/South America: +1.610.282.6701

ASIAN HEADQUARTERS

Singapore

Lutron GL Ltd. 15 Hoe Chiang Road, Tower 15, Euro Asia Centre, Singapore 089316 TEL +65.6220.4666 FAX +65.6220.4333

Lutron Asuka Co., Ltd.

No. 16 Kowa Building, 4F 1-9-20, Akasaka, Minato-ku Tokyo 107-0052 Japan Asia Technical Hotline 0120.083.417 TEL. 03.5575.8411 FAX. 03.5575.8420 E-mail. asuka@lutron.com http://www.lutron.jp/

